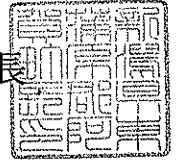




阿建第 301 号
平成 19年 5月7日

国土交通省道路局長 様

新潟県東蒲原郡阿賀町長



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

4月2日付け国道企第114号で依頼のありました標記の件に
ついて別紙のとおり回答いたします。

- 1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策
 - ・ 公共交通網の整備されていない中山間地域にあっては、通学、通勤、通院等生活関連道路の早期整備を。
 - ・ 高速道路対面通行区間における交通事故多発区間を重点的に4車線に局部改良の整備を。
- 2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
 - ・ 契約方法の改善により、入札契約の適正化を図りコスト縮減を。
 - ・ 道路の建設・維持管理には、新技術の活用、工法の工夫によりコストの縮減を図る努力を。
 - ・ 既設道路の利用形態を見直す事による有効利用の促進を。(スマートIC設置等)
- 3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること
 - ・ 市町村合併の推進により、広い行政区域を有する状況にあり、特に中山間地域では、豪雪地帯で災害危険箇所を数多く抱えており、その整備は遅れているのが現状であります。また、維持管理については、消雪パイプフレッシュ事業、橋梁長寿命化修繕計画策定事業と新規の補助制度が創設されまして、有効利用しておりますが、管理費用縮減のため、さらなる補助金制度が活用できるよう、地方への絶大なる支援をお願いしたい。